

# 【河川】 『最上川上流河川環境検討会』 を実施 !! ～ 河道内樹木伐採における河川環境への配慮に向けて～

平成30年11月30日  
山形河川国道事務所

## 1. 目的

河道内樹木は、洪水時の流下阻害や河川巡視の際の視認障害など地域の安全安心に影響を及ぼす可能性が懸念されている。今回、「地域プラットフォーム形成支援事業」の公募型樹木伐採にあたり、河川環境に配慮すべき事項等について、アドバイザーの方々からご指導ご助言をいただきました。

## 2. 日時／実施状況

- 日 時：平成30年11月30日（金）10:00～12:00
- 場 所：山形河川国道事務所 2階 大会議室
- 議事内容：最上川官民連携プラットフォームについて  
（公募型河道内樹木伐採モデル事業）  
須川の河川改修について
- 出席者（河川水辺の国勢調査アドバイザー）：
  - ・前川 勝朗（山形大学 名誉教授）
  - ・原 慶明（山形大学 名誉教授）
  - ・廣田 忠雄（山形大学 准教授）
  - ・桂 和彦（山形県農林水産部 水産振興課長）
  - ・東 英生（ワイルドライフワークショップ代表）



検討会の開催状況

## 3. 主な意見等

- 伐採者による営利のみを優先した作業にならないよう、伐採前に環境に配慮すべき事項の提供及び伐採後の確認作業を実施してほしい。
- 河畔林は魚類の餌となる供給源でもあるため、伐採前に漁協と事前打合せを行い意見を伺ってほしい。
- 外来種（ハリエンジュ）だからといって全伐ありきではなく、花の蜜等の視点もあるので配慮が必要。



前川 先生  
「河川」



原 先生  
「植物」



廣田 先生  
「陸上昆虫類」



桂 先生  
「魚類・底生動物」



東 先生  
「両生類・爬虫類・哺乳類」